平成21年9月17日

保護者の皆様へ

大阪府立西浦高等学校
校長 谷口 利広

インフルエンザの感染拡大防止に向けて

すでにご存知のとおり、新型インフルエンザが流行期に入り、全国的に感染が広がっています。大阪府下の学校でも学年閉鎖や学級閉鎖が続いています。本校では、単発的な感染報告はあるものの、現在のところ校内での感染拡大は見られておりません。しかしながら10月頃には全国的に流行のピークを迎えると予想されており、さらに感染が拡大するおそれがあります。感染者の増加に伴い重症例や死亡例が報告されていることから、学校では今後も早期発見や感染拡大防止に努めてまいりますので、ご家庭におかれましても引き続き、予防と健康管理にご協力いただきますようお願いいたします。

【お知らせ】

- 学校では、朝の健康観察の他、随時保健通信を発行して感染拡大防止に取り組んでおりますが、この度、別冊の「よくわかる H1N1 新型インフルエンザ対策」を購入しましたので、本日持ち帰ってまいります。
この冊子は、今回のH1N1 新型インフルエンザ対策に留まらず、毒性の強い新型インフルエンザ（H5N1）の予防までをわかりやすくコンパクトにまとめてありますので、是非、今後のインフルエンザ対策にお役立てください。
- インフルエンザに感染した場合や感染のおそれがある場合、学校への登校について次のようになりました。
「新型インフルエンザ 対応マニュアル」出席停止の基準より（府教委 H21.8.31）

本人が感染した場合	治癒するまで、または解熱後2日経過するまでは自宅療養してください。その期間は出席停止扱いとなります。 回復して登校する際は医師による意見書または診断書を提出してください。*意見書は学校ホームページよりダウンロードできます。
濃厚接触者（同居家族が発症した場合）	原則として、同居家族が発症した日の翌日から7日間、自宅待機をお願いします。その期間は出席停止扱いとなります。 ただし、定期考査や公式試合等においては、*1インフルエンザ様症状がないことを確認した上で、個別に配慮しますので学校にご相談ください。
*2基礎疾患がある人	本人の病状、居住地域や学校での流行状況等に応じて「出席停止」の措置が可能です。学校にご相談ください。 〔基礎疾患がある人は主治医と相談し、基礎疾患の自己管理、発熱等の症状が出た場合の主治医への連絡方法や治療方法に関する注意点を確認しておいてください。〕

- *1インフルエンザ様症状…38.0度以上の発熱と急性呼吸器症状（鼻水、鼻づまり、咳、のどの痛みのうち少なくとも1つ以上の症状がある）
- *2基礎疾患…妊婦、幼児、高齢者、慢性呼吸器疾患（ぜん息等）、慢性心疾患、代謝性疾患（糖尿病等）、免疫機能不全等を有しており治療経過や管理の状況を勘案して医師により重症化へのリスクが高いと判断される者。

【お願い】

- 体調が悪い時はまず自宅で検温をお願いします。37.5度以上の熱に急性呼吸器症状があれば登校を控え、医療機関に電話後受診してください。
- 欠席する場合はその理由を添えて必ず連絡してください。
- 登校後、発熱等の症状がある場合は早退を指示します。保護者連絡や場合によってはお迎えをお願いすることがありますのでご了承ください。